

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)刈茅ヶ崎中海岸新築工事	階数	地上3F、地下1F
建設地	茅ヶ崎市中海岸三丁目11516番3	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年3月19日
敷地面積	6,332 m ²	作成者	(株)明建築設計事務所
建築面積	2,870 m ²	確認日	2021年3月19日
延床面積	7,592 m ²	確認者	(株)明建築設計事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 小高い丘状の地形を生かした配棟とし、緑豊かに住宅地になじむよう落ち着いた外観としている。また、サーフィンや釣りなどのマリレジャーを考慮した共用部としている。		0
Q1 室内環境 専有部分について、断熱性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりをもたせた設計としている。また、空調・給排水配管の更新対策にも配慮するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	0
LR1 エネルギー 断熱性能等級4としている。	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率77%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される